

火災に強い
高水準の耐火性能
×
省令準耐火構造^{※4}

8

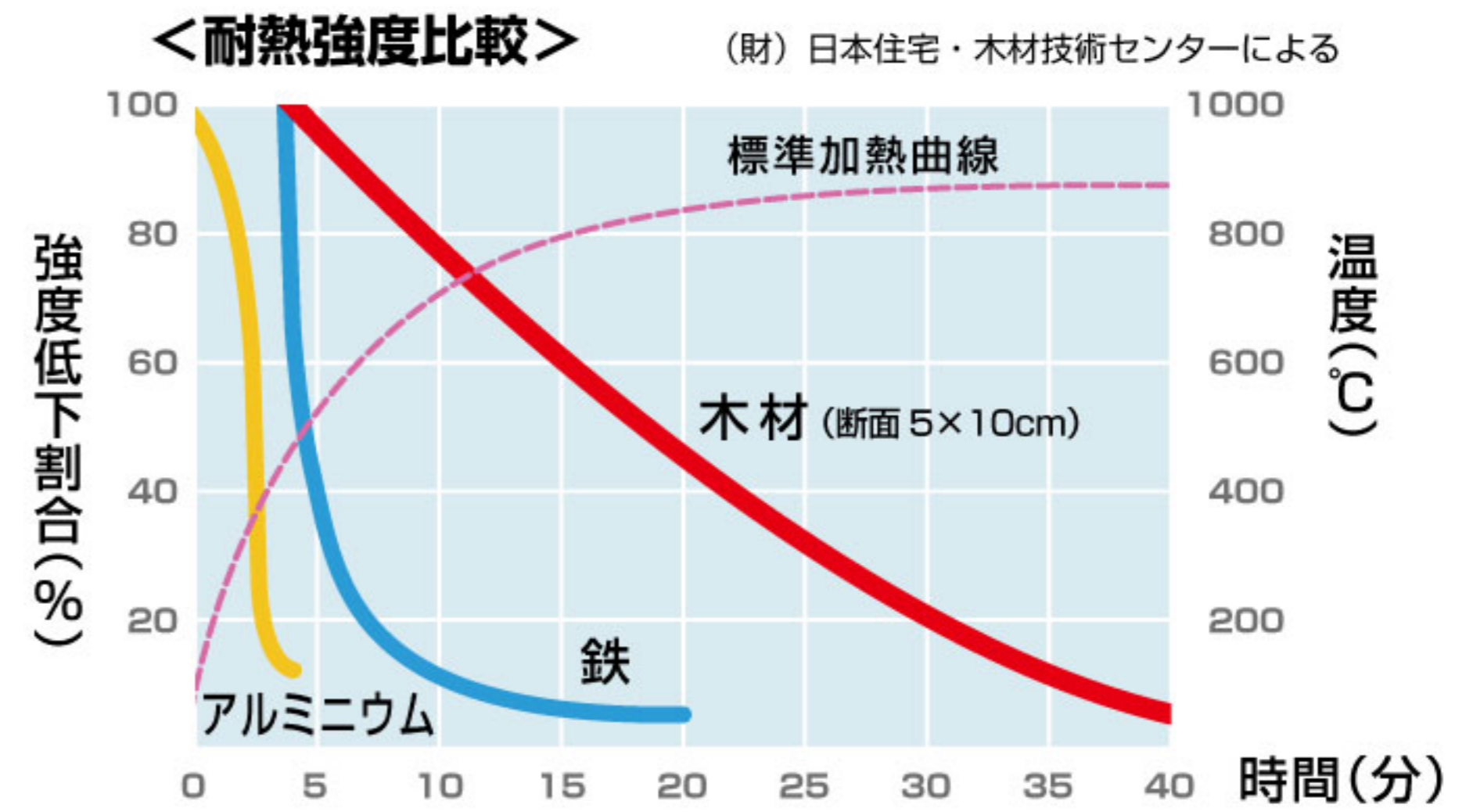
『建てた後の事を考えるのも必要』

火に強い素材 省令準耐火構造^{※4}

■ 万一の火災の時にもご家族を守る、火に強い素材

1. 鉄やアルミよりも火に強い「木」

一般的に木は燃えやすいと思われがちですが、加熱実験では鉄やアルミより強度の低下が遅いという結果が出ています。
木は燃えると表面に炭化層を形成するため、内部に酸素が供給されず、なかなか燃え進まないという性質があります。

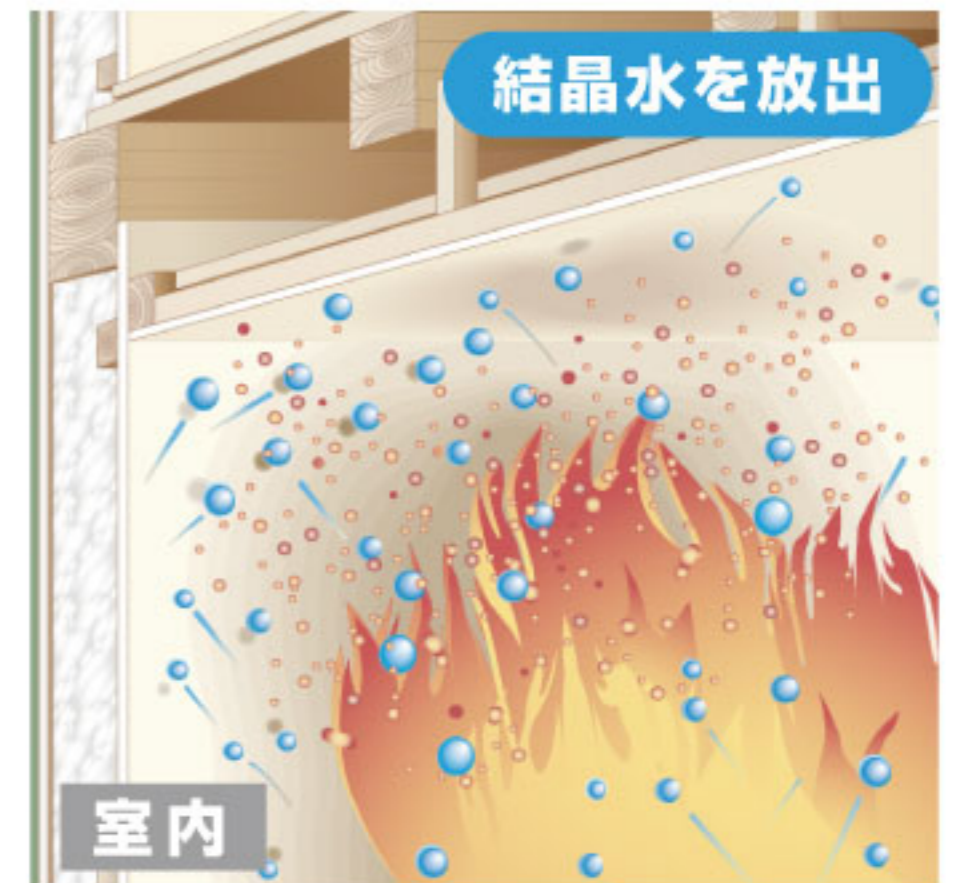


2. 不燃材料の「外壁材」・耐火性ととも延焼防止効果を向上させる「石膏ボード」

火に強い不燃材料に認定された外壁材を標準仕様として採用。万一、隣の家で火災が発生した際でも、もらい火や火の粉の影響を受けにくくします。



壁や天井の下地に使用された不燃性の石膏ボードは、万一の火災時には、熱分解の反応によって約20分間にわたり水蒸気を発散し、温度上昇を抑制します。



■ 省令準耐火構造仕様^{※4}を推奨

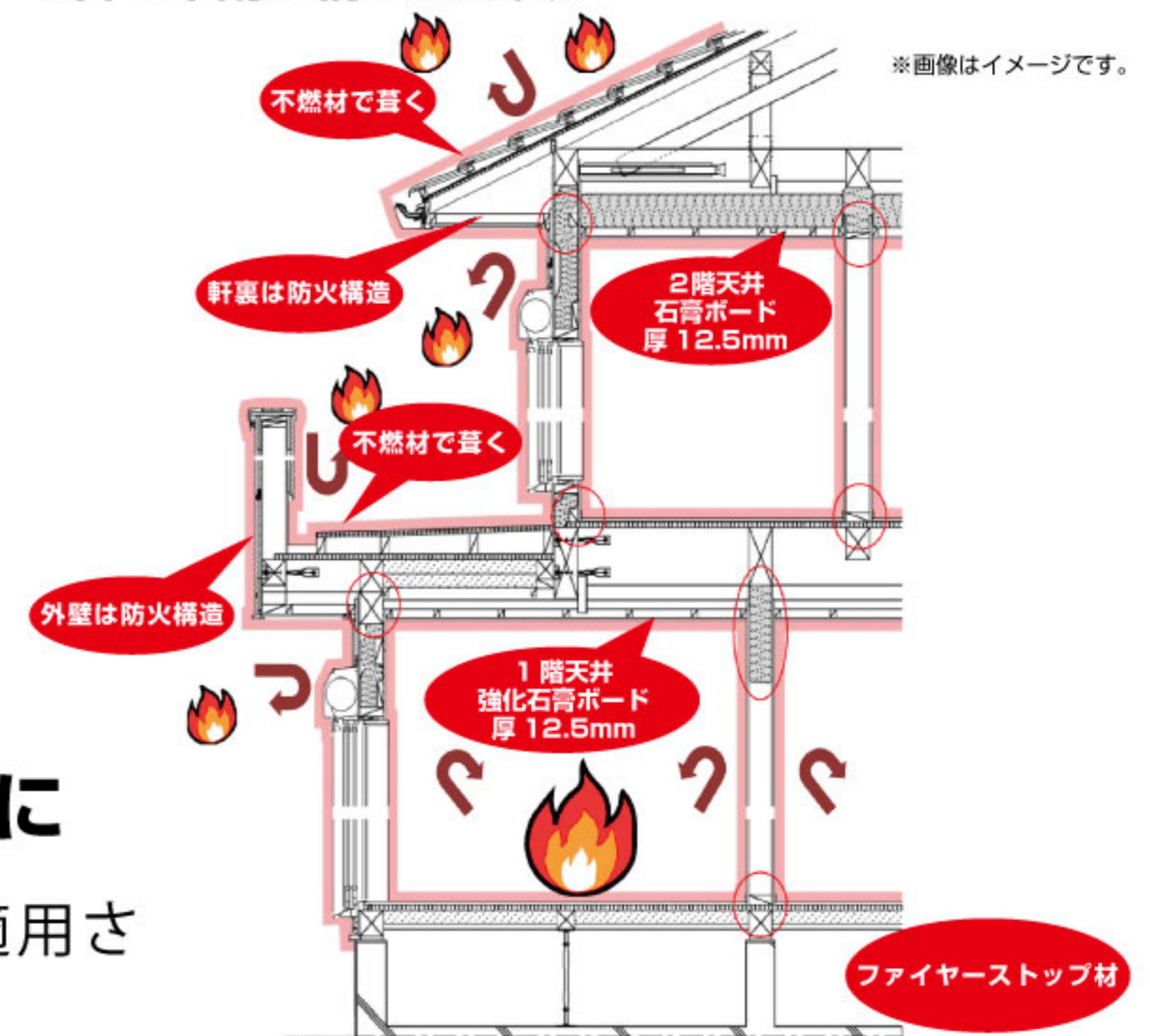
省令準耐火構造仕様^{※4}の家のポイント

- Point1** 隣家などから火をもらわない(外部からの延焼防止)
- Point2** 火災が発生しても一定時間部屋から火を出さない(各室防火)
- Point3** 部屋から火が出ても延焼を遅らせる(他室への延焼遅延)

省令準耐火構造仕様^{※4}の家なら火災保険料が割引に

火災保険料を決める構造区分に応じて、保険料の割引が適用され、一般の木造物件よりも、火災保険料率が低くなります。

＜省令準耐火構造の概要＞



※4:「省令準耐火」はオプション仕様で対応しています。
※火災保険に関して、ご不明な点は保険代理店もしくは保険会社へお問合せください。